

教職員の研修の充実

－ 「与えられた研修」から「求める研修」へ－

学校教育における教職員の究極的な職責は、幼児児童生徒一人一人の望ましい変容、つまり人間としての成長・発達を促すことであり、教職員の力量が幼児児童生徒の人間形成に大きな影響を及ぼすものである。

あるべき資質能力を身に付けるためには、自己研修はもとより、校内研修の充実、教育研究団体などによる研修、県教育研修センターの研修、大学(大学院)での研修など、教職員の積極的な研修が不可欠である。

(教員の資質能力の向上に関連するこれまでの答申)

1. 平成9年7月教育職員養成審議会第一次答申「新たな時代に向けた教員養成の改善方策について」
2. 平成10年10月教育職員養成審議会第二次答申「修士課程を積極的に活用した教員養成の在り方について－現職教員の再教育の推進－」
3. 平成11年12月教育職員養成審議会第三次答申「養成と採用・研修との連携の円滑化について」
4. 平成14年2月中央教育審議会答申「今後の教員免許制度の在り方について」
5. 平成17年10月中央教育審議会答申「新しい時代の義務教育を創造する」
6. 平成18年7月中央教育審議会答申「今後の教員養成・免許制度の在り方について」
7. 平成19年3月中央教育審議会答申「教育基本法の改正を受けて緊急に必要とされる教育制度の改正について」
8. 平成20年4月中央教育審議会答申「教育振興基本計画について～「教育立国」の実現にむけて～」
9. 平成21年12月30日閣議決定「新成長戦略(基本方針)」
10. 平成22年6月18日閣議決定「新成長戦略～「元気な日本」復活のシナリオ～」
11. 平成24年8月28日中央教育審議会答申「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」
12. 平成27年12月21日中央教育審議会答申「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について～学び合い、高め合う教員育成コミュニティの構築に向けて～」

校内研修

1 校内研修の意義

各学校の目標の達成と教育課題の解決を目指して、全教職員によって計画的・組織的・継続的に研究するとともに、教育課題の共有化や共通理解をすることによって、教職員の自発的な教育実践意欲の高揚、自己実現などが図られ、一人一人の力量形成とともに、学校全体のレベルアップを図ることができる。

2 校内研修の特質

- ・幼児児童生徒の特性や学校・地域の実態を踏まえた実践的な研修
- ・学校教育目標実現に向けた教育実践のための研修
- ・学校のエデュケーション課題解決に向けた組織的な研修
- ・日常の教育実践の中から生まれた課題の追究のための研修
- ・研修の成果を実践に反映させながら、検証的に研修を積み重ねる

3 校内研修の内容

研修テーマに基づく研修

例：学習指導方法の改善等に係る理論・調査・討議等に関する内容、計画的な授業研究

教育課題に関する研修

例：指導と評価の在り方、創意ある教育課程、新しい道徳教育の方向等

教職員の希望による研修

例：教育相談の技法、ICT研修、歌唱指導、読み聞かせの技術、調理実習等

管理職等からの指示事項に関する研修

例：年間・月毎の学校運営の重点、教職員の服務、県の重要施策、情報公開の理解等

4 校内研修を充実させるための配慮事項

- ・全国学力・学習状況調査及び学力診断のためのテストに係る各学校の学校改善プランの見直しと活用を図り、継続的な検証改善サイクルを確立するように努めること(小・中学校)
- ・県教育研修センターが実施する「校内研修支援訪問事業」を積極的に活用すること
- ・学校や地域の具体的な教育課題に即した年間の研修計画を立て、教職員全員が主体的に参加できるように各自の役割を明確にするとともに、それぞれの特性を生かすようにすること
- ・様々な分野の専門性を有する外部講師を活用し、教職員の識見を高める校内研修をすること
- ・教育目標と幼児児童生徒の学力・体力や行動、生活態度等の実態を踏まえ、変容に視点をあてた研修であること
- ・理論研修と実践研修がバランスよく考慮された研修内容になっていること
- ・個々の教員の能力向上だけでなく、学校におけるチームワークを重視し、全体的なレベルアップを図るといった視点から校内研修の充実を努めること
- ・文部科学省や茨城県教育委員会等の刊行物・資料集等や教育研修機関等のWebページで公開されている資料等を有効に活用すること
- ・研修を適切に評価し、成果と課題を明確にし、絶えず工夫改善に努めること

5 校内研修の一層の充実を目指して

- ・研修の振り返りを生かした、改善に向けた取組の充実
- ・校内研修の核となる優れたリーダーやファシリテーターの計画的な育成
- ・研修実践と成果等の学校間の情報の共有化(茨城県教育情報ネットワーク等による情報の発信・収集等)
- ・若手教員研修や中堅教諭等資質向上研修等における校内研修への全教職員の参画とサポート体制の確立(OJT機能を生かした研修)

<本県の求める教師像>

- 1 教育者としての資質能力に優れた、**人間性豊かな教師**
- 2 使命感に燃え、やる気と情熱をもって教育にあたることのできる**活力に満ちた教師**
- 3 広い教養を身に付け、子どもとともに積極的に教育活動のできる**指導力のある教師**
- 4 子どもが好きで、子どもとともに考え、**子どもの気持ちを理解できる教師**
- 5 心身ともに健康で、**明るく積極的な教師**

<これからの教員に求められる資質能力>

平成24年8月中央教育審議会答申「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」より

教職に対する責任感、探究力、
教職生活全体を通じて自主的に
学び続ける力

専門職としての高度な知識・技能

総合的な人間力

校外研修

茨城県教育研修センターが行う研修

※義務教育学校前期課程は「小学校」、義務教育学校後期課程は「中学校」にそれぞれ含まれる。
 ※中等教育学校前期課程は「中学校」、中等教育学校後期課程は「高等学校」にそれぞれ含まれる。
 ※詳細は「平成29年度茨城県教育研修センター事業概要」を参照のこと。

基本研修 (33講座)			
若手教員研修 (講座番号 1~12) ◎採用1年次から3年次の教員に対して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得させる。 ○初任者研修講座(小・中・高・特) ○2年次研修講座(小・中・高・特) ○3年次研修講座(小・中・高・特)	新採研修 (講座番号 13~17) ◎新規採用教職員に対して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得させる。 ○新規採用養護教諭研修講座 ○新規採用栄養教諭研修講座 ○新規採用実習助手研修講座 ○新規採用寄宿舎指導員研修講座	6年次研修 (講座番号 18~25) ◎全般的な教育活動の在り方について再認識するとともに、自己の課題を明確にし、その解決に資する。 ○6年次研修講座(小・中・高・特・養・栄・実・寄宿)	中堅教諭等資質向上研修 (講座番号 26~33) ◎広い視野から教育実践上の様々な課題を究明することにより、中堅教諭としての指導力の向上を図る。 ○中堅教諭等資質向上研修講座(小・中・高・特・養・栄・実・寄宿)
専門研修 (64講座)			
教職研修 (27講座) 推薦・悉皆研修 (講座番号 39~45) ◎教職全般にわたるより専門的資質能力の向上を図る。 ○教育課題に対応するためのリーダー養成 ○栄養教諭 ○いじめ対応 ○新任特別支援学級・通級指導教室担当者 ○新任特別支援教育コーディネーター ○情報モラル・セキュリティ ○臨時的任用職員 希望研修 (講座番号 78~97) ◎教職全般にわたるより専門的資質能力の向上や自主的研修の充実を図る。 ○水環境について考える 夏の環境教育 ○道徳教育 ○特別活動 ○学校組織マネジメント ○不登校対応 ○思春期の子どもと保護者に寄り添う教師のためのソーシャルスキル ○教育相談(初級・中級・上級) ○問題行動を未然防止! 育てる教育相談 ○特別支援学級・通級指導教室担当者指導力向上 ○心理検査(WISC)の解釈と活用 ○発達障害等のある児童生徒への指導法 ○特別支援教育指導法(ICT活用) ○特別支援教育専門 ○授業に役立つICT活用 ○校務に役立つICT活用(Excel編) ○エクセルVBA ○ネットワーク ○分かる! できる! 楽しいプログラミング教育	職務研修 (19講座) 推薦・悉皆研修 (講座番号 46~64) ◎各職務に関する専門的資質能力の向上を図る。 ○新任校長(小・中・高・特) ○新任教頭(小・中・高・特) ○新任教務主任(小・中・高・特) ○新任学年主任(小・中・高) ○新任生徒指導主事 ○新任進路指導主事(中・高・特) ○新任保健主事 ○学校図書館担当教職員 ○特別支援学校寄宿舎指導員 ○新任特別支援学校部主事	教科研修 (18講座) 推薦研修 (講座番号 34~38) ◎各教科に関するより専門的資質能力の向上を図る。 ○小学校理科問題解決の活動 ○情報科教育 ○産業教育(農業・工業・商業) 希望研修 (講座番号 65~77) ◎各教科に関するより専門的資質能力の向上や自主的研修の充実を図る。 ○目的に応じて読む能力を高める国語科授業づくり ○地理情報を活用した社会・地理歴史・公民 ○算数科授業力向上 ○数学科授業力向上 ○先生だって理科が好き! 夏の理科観察・実験 ○授業がもっと楽しくなる! 音楽科基礎 ○我が国の伝統音楽 ○これからの図画工作・美術科 ○できるをいっぱい! 家庭科授業づくり ○みんなで創ろう「Technology」の授業 ○イングリッシュ・サマー・セミナーⅠ(小・中・特) ○イングリッシュ・サマー・セミナーⅡ(中・高・特) ○思考力・判断力・表現力を高めるための指導力向上	
特別研修			
長期研修〔内地留学〕 (3,6か月) ◎長期間の研修を通して、より広い視野に立った教員としての資質能力の向上を図る。	スキルアップ研修 (6か月) ◎指導力に課題や不安のある教員に対して、受講者の課題に応じた月1回の専門的な研修を実施することにより、受講者の指導力の向上をねらうとする校内研修の充実に向けて支援する。	指導改善研修 (1か年) ◎学習指導、生徒指導及び学級(ホームルーム)経営上の課題等について、改善のための研修を通して指導力の向上を図る。	

教育庁が行う研修

義務教育課	高校教育課	特別支援教育課	保健体育課
○新規採用教員研修(幼児教育) ○中堅教諭等資質向上研修(幼児教育) ○保育技術協議会 ○幼児教育教育課程研究協議会 ○園長等運営管理協議会 ○教育課程研究協議会 ○「原子力・放射線に関する教育」に係る教員研修 ○生徒指導教育連絡協議会 ○帰国・外国人児童生徒教育研修会 ○発音力アップ研修会 ○教員の英語力向上研修 ○ロジカル・キング研修会 ○英語インタラクティブフォーラム ○県大会ジャッジトレーニング研修会 ○いばらき理科教育推進事業に係る授業研究会及び研修会 ○学校における動物飼育研修会 ○若手教員研修指導教員等研修会 ○小中事務職員研修 ○臨時的任用職員研修会	○外国語指導助手指導力等向上研修 ○教育課程研究協議会 ○学力向上推進委員会 ○生徒指導教員連絡協議会 ○キャリア教育セミナー ○ディベート指導法研修会 ○政治的教養を育む教育に係る研修会 ○審査員養成研修(ディベート) ○豊かな育成コーディネーター等研究協議会	○特別支援教育リーダー養成研修会 ○特別支援学校研修交流者研修会 ○教育課程等研究協議会 ○交流及び共同学習研修会 ○医療的ケア研修会(担当教員、看護職員) ○教員によるたんの吸引等に関する研修会 ○学校運営課題研修会 ○教育支援担当者専門研修会 ○特別支援教育管理職研修会 ○発達障害等に関する特別支援教育コーディネーター研修会 ○高等学校等特別支援教育コーディネーター連絡協議会 ○県立特別支援学校生徒指導主事協議会 ○特別支援学校自立活動指導力向上研修会 ○小中学校等自立活動指導力向上研修会 ○特別支援学級担任等授業改善研修会 ○特別支援教育巡回相談員専門研修会	○運動部活動指導者研修会 ○学校体育実技指導者講習会 ○体育主任研修会 ○養護教諭研修会 ○労働安全衛生法研修会 ○防犯教室指導者講習会 ○学校保健・学校安全指導者研修会 ○防災教育指導者研修会 ○心肺蘇生法実技講習会 ○学校保健・学校安全研究大会 ○給食主任研修会 ○衛生管理現地研修会 ○栄養教諭・学校栄養職員等研修会

国や県が主催する長期研修

研修名	派遣先	研修名	派遣先
教職員等中央研修	独立行政法人教職員支援機構	企業等長期社会体験	県内企業等
内地留学	県教育研修センター、茨城大、筑波大、特総研	教育課題研修指導者海外派遣プログラム	海外
大学院派遣	上越教育大、兵庫教育大、鳴門教育大、茨城大、筑波大の各大学院	学校図書館司書教諭講習	筑波大
不登校児童生徒の適応指導に関する研修	市町村教育委員会		